

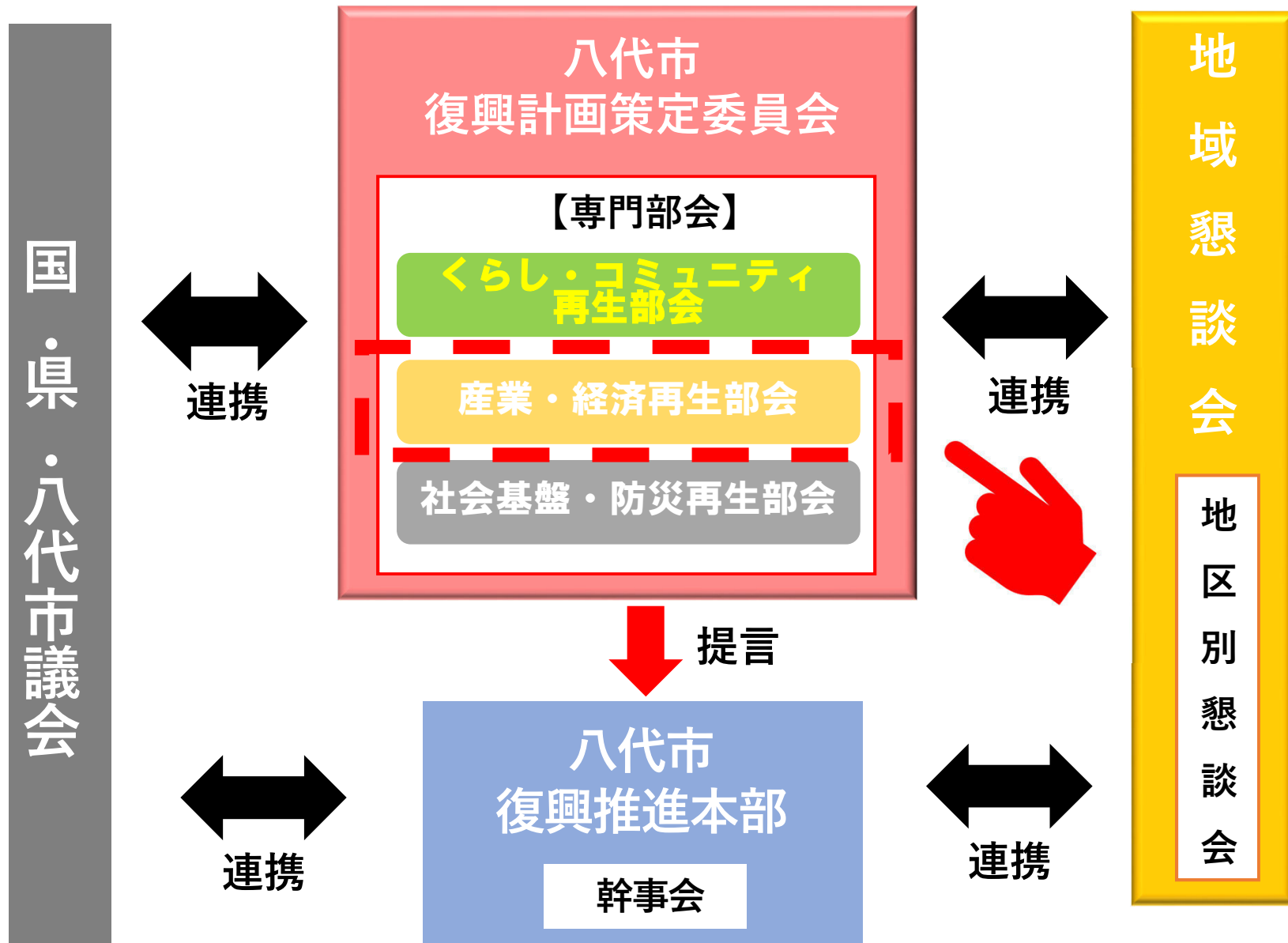


八代市坂本町復興計画策定委員会

第2回 産業・経済再生部会

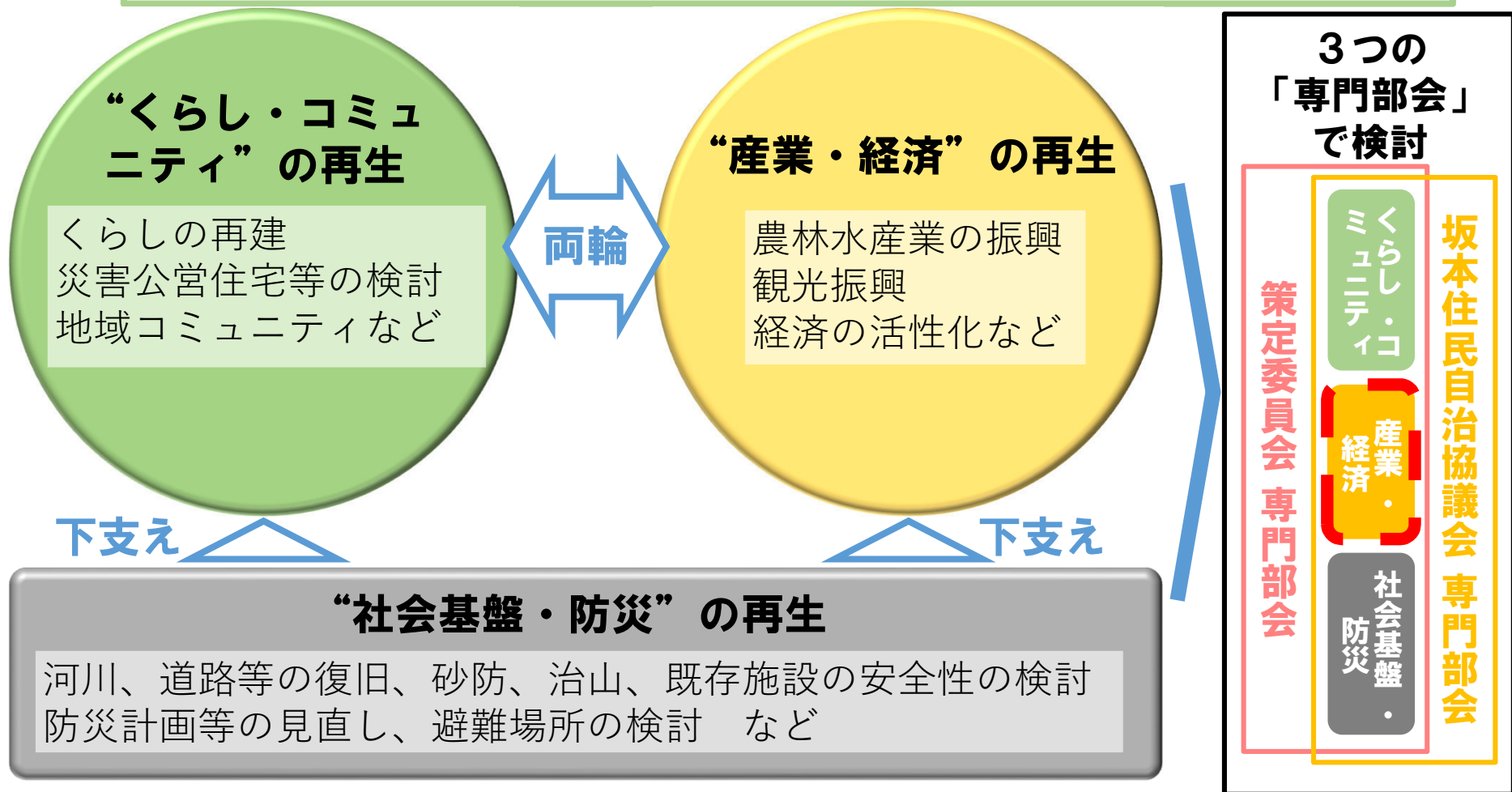


まず、振り返り・・・復興計画策定に向けた組織体制 ¹



まず、振り返り・・・復興に向けた取り組み

復興計画では、基本理念（キャッチフレーズ）のもと、
「**“暮らし・コミュニティ”の再生**」と「**“産業・経済”の再生**」を両輪に、
「**“社会基盤・防災”の再生**」で下支えする関係とし、3分野に分けて
『**創造的復興**』への取り組みを検討します。



まず、振り返り・・・専門部会の構成・検討事項

部会	検討項目	論点
<p>くらし・コミュニティ再生部会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 住民が一日でも早く安全・安心・快適に暮らせる環境の整備・充実に向けた検討 ✓ 住民が支えあって笑顔で毎日を過ごせるための地域コミュニティの維持・強化に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■保健、医療、福祉の充実について <ul style="list-style-type: none"> * 生活再建への支援 * 子どもへの支援（遊び場の整備、心のケア） * 高齢者等の見守り * 災害公営住宅の検討 * 子育て世代への支援 など ■教育、文化の向上について <ul style="list-style-type: none"> * 教育・文化・スポーツ * コミュニティセンター など ■積極的な情報の発信について <ul style="list-style-type: none"> * 住民への情報伝達方法の再点検 など ■協働のまちづくりについて <ul style="list-style-type: none"> * 地域コミュニティ * 要援護者支援 など
<p>産業・経済再生部会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 雇用の維持、産業活力の再生に向けた、産業基盤の早期復旧や事業所再開支援等の取り組みの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■産業の振興について <ul style="list-style-type: none"> * 各産業の再興・振興 * 商業機能の充実（生活者観点） * 企業誘致及び産業拠点整備 * 観光・レジャー産業の再生・転換 など * 雇用の維持・創出（就業者観点）
<p>社会基盤・防災再生部会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 災害に強いまちに生まれ変わるための、公共施設や幹線道路網等の計画的な再生・整備に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■公共施設等の再生・整備について <ul style="list-style-type: none"> * 社会基盤の自然災害への対応強化 * 公共交通機関の充実 * 坂本支所の位置の検討 * 河川（橋・堤防）の復旧 * 道路の復旧・改良 * 土地利用 など ■防災体制の強化について <ul style="list-style-type: none"> * 避難所 * 防災意識の向上 など

■ 第1回策定委員会での意見（① 計画全体）

4

《復興計画の構成》

「“暮らし・コミュニティ”の再生」 「“産業・経済”の再生」

「“社会基盤・防災”の再生」

□ 土地利用をどうしていくか

どのように復旧するのか、被災した土地の利用をどうするのか。

□ 坂本支所をどこに再建するのか

地域の将来の姿に大きく影響、なるべく早く検討することが必要。

□ 国・県の動向も踏まえて、連携

国や県が示す方針を踏まえ、復興計画に取り組んでいくことが必要。

□ 地域の将来像・希望

できるだけ早く示し、住民に考えてもらうことが重要。

□ 3つの専門部会で課題を共有

1つの部会で挙げた課題の中には、他の部会にも関わるものがある。

□ 情報提供や被災者に寄り添ったアドバイス

“くらし・コミュニティ”の再生

くらしの再建
災害公営住宅等の検討
地域コミュニティなど



□ 安全な居住環境の確保

また災害が再び来るのではないかという不安をどう解消するか。

□ 住宅地の整備などの計画

地域に戻りたくても、急傾斜地が多く住宅再建する用地がない。

□ 行き来できない集落

道路復旧が遅れ、このままでは地域コミュニティが成り立たなくなる懸念。

□ 子育て世代の地域外流出

小中学校がどうなるのか・通学手段を確保できるのかといった不安。

□ 住宅取得に対する支援策

住宅再建のためのローンを組むことに踏み切れない。

□ 地域の医療機能

地域の医療機関も被災し、無医地区のような状況。

“産業・経済”の再生

農林水産業の振興
観光振興
経済の活性化など

□ 坂本支所の位置

産業（事業所）・病院・金融機関などの中心部立地も変わる。

□ 産業の再生に向けた「ロードマップ(道筋)」

商工会から退会する会員も出てきており、地域の産業が成り立たなくなる懸念。

□ 農業の再建

元の農地等で農業の再建ができるのか。



<観光>



<商業>



<農業>

“社会基盤・防災” の再生

河川、道路等の復旧
砂防、治山
既存施設の安全性の検討
地域防災計画等の見直し
避難場所の検討 など



□ 目標年次を踏まえた復興計画

計画の目標年次も考えながら、インフラ整備。

□ 「流れの強さ」の検証

土地利用の検討に向けては、各方面からの検証が必要。

□ 様々な施設を集約化

住民の利便性や投資効果の向上が図られ、「創造的復興」につながる。

□ 支流沿いの狭い道路

国・県道はある程度応急的に復旧したが、狭い道路は重機の進入が困難で復旧に時間を要する。

□ 安全性の確保

気候変動による災害リスクの変化を踏まえて検討。

① 基本理念（案）について

「みんなで取り戻す 生き生き笑顔のさかもと」

平成26年に坂本住民自治協議会が発足した際に、坂本町の人口減少や高齢化、過疎化に伴う深刻な後継者不足を改善するために、まちづくり計画を策定した際にも同じスローガンを掲げ、坂本町の地域振興を図ってきた。

また、サブタイトルとして、

- ひとりも取り残さない安心なまちづくり
- 次世代へつなぐ安全なまちづくり
- みんなで取り組む持続可能なまちづくり

を提案いただきました。

第1回 地域懇談会 で出された意見・要望

② 提出いただいた意見書（別添）

令和2年7月豪雨災害地区別懇談会結果表

八代市坂本町復興推進部会

項目	問題点（実態）	改善点（要望）
くらし・コミュニティ再建	① 国道やJR肥後線の被災によりインフラが壊滅的な打撃を受けており、未だに日常の生活を取り戻していない。	・早期確実な復旧
	② 自治活動の拠点である地区の公民館が多数被災しており自費での復旧が難しい。各種会合を屋外で行っている。	・公費による公民館の修復、新築、及び備品購入（空き家の有効活用）
	③ 断水により、生活用水が7月31日、飲料水が8月14日に復旧したが高齢者にとっては給水車までの往復に困難を極めた。	・早期復旧体制の見直し（自治水道については市は給水車の対応なし）
	④ 公共交通機関が遮断されているため、市街地の病院に行くにはタクシーの利用のみであり、莫大な費用がかかる。	・早期の道路復旧とコミュニティバスの運行
	⑤ 市ノ原、横様道路が被災し来年の3月まで通れない。家屋に害獣による被害が起きているが罹災証明が出ないため様々な支援が受けられない。	・罹災証明の発行等、特例の措置
	⑥ 避難時に車及び家財道具を持ち出せず、車は車検切れとなり、生活用品等は新たに購入しなければならず、多大な出費となった。	・援助の対象に
	⑦ 透析が必要な人及び要介護者等の避難では、避難場所への移動等に手間取り、被災者に苦痛を与えた。	・対応マニュアルの作成
	⑧ 市から避難指示があり、避難までの移動に車椅子利用者が3回乗降させられ、精神的にも苦痛を感じられた。また、市職員から自己所有車の高速道路利用を拒否された後の通勤等に支援を求した。	・被災者の身になり寄り添った対応（高速道路使用の覚書の確認）
	⑨ 避難所利用者には食事及び支度物資等の提供があったが、自主・在宅避難者については、食事、支度物資等の支給がなく、情報もなかった。（全地域）	・情報の共有化
	⑩ 在宅避難者用の弁当の支給を申し出たが、食中毒の恐れがあるという理由で、もらえなかった。	・心の通った対応
再建	⑪ 百済来郵便局が浸水被害に遭い、印鑑証明等が発行が出来なくなり日常生活に支障を来している。	・早急な復旧（備品の支給）
	⑫ 持ち主が不明、または持ち主の名義変更がなされていない空き家等の場合、泥・家財道具の搬出及び解体処理ができない。衛生上からも問題があり、近隣住民と自治会が苦慮している。	・早急な解決策の検討（公費解決の基準の緩和）
	⑬ 復旧作業は家族、親戚、各地区民等で行ったが、ボランティアセンターの設立が遅かったことで、個人に負担がかかった。また、要請先、要請方法が分からず、対応が遅れた。	・災害発生後は迅速な対応、周知方法の確立（住民自治-各地域振興会-自治会長）
	⑭ NPO法人ボランティア団体の対応が早く、救護・救助及び復旧への貢献度が高かった。	・感謝
	⑮ 自衛隊の応援は非常に助かった。しかし、導入時期が早ければ更に効果があった。	・自衛隊への迅速な応援要請
	⑯ 当初ごみを数か所にまとめて出していたが、行政から後日、分別して出してくれと言われ対応に苦慮した。また、高齢者が多く集積所への運搬が困難だった。	・災害ごみ処理のマニュアル化（土嚢袋ばかりではなく、透明ゴミ袋の配布）
	⑰ 災害ごみの撤去期限が決まられており、今後も災害ゴミが発生する状況にあることから、その処理に苦慮している。	・災害ごみの撤去期間の延長
	⑱ ペットを飼っている人は避難がしづらい。	・避難所にペット所有者の受け入れは可能であった。周知方法の確立
	⑲ 市の対応	
	・市の対応について、たい回しが多く月の電話代が3万かった。また、問い合わせに対し「市のホームページを見てください。」と言われた。さらに、他の案件で市に相談したら「そんなしひどいんですか。」と言われた。	
・市の相談窓口で電気、水道の回復状況を聞きに行ったが、具体的な回答が全くなかった。		
・緊急を要する透析患者の移送について市の職員に依頼したが、「支所の状況を見に来た、すぐ帰って来る。」とのことで長時間待たされたら、一般の方に移送を依頼した。		
・坂本支所機能が千丁支所に移ったため、情報収集や相談等が不十分であり復旧作業に極めて支障を来した。		
・行政の支度物資は銀町にあるが、距離が遠く利活用が極めて不便であり、坂本町に配備した方が効果がある。		
・田上社会教育センターへの職員配置が遅かった。		
	・職員間の情報の共有	
	・被災者に寄り添った対応	
	・効果的な迅速な対応	

記録・情報	① 災害発生後長期間に亘り、通信網（テレビ、インターネット、固定・携帯電話、告知放送等）が遮断され、情報の共有が全くできなかった。また自治会の災害対応に支障をきたした。	・各地区への衛星電話の配備
	② 市の情報が校区会主体で地域振興会には届かず対応が出来なかった。	・情報の共有化、連絡方法の変更（住民自治、各地域振興会、自治会）
産業・経済	③ 通信手段として衛星電話があったので非常に助かった。	・各地区への衛星電話の配備
	④ この悲惨な災害を忘れないように記録誌を作成し後世に伝えることが必要	・記録誌作成
防災関係	⑤ 支所からの情報がなく、全く顔が見えなかった。	
	⑥ 安定した日常を取り戻すため、郵便局、銀行、病院、商店、ガソリンスタンド等の早期再開（規制による営業の継続性）	・再開場所の確保（災害に強いインフラの整備）
	⑦ 住民の利便性を図るため公共施設等の適切な場所への集約	・早急な計画の提示
	⑧ 坂本町は第一次産業が主な収入源であるが、今後、企業誘致等は望めず、観光事業が地域おこしの重要な施策となる。観光の目玉（名勝）を作る	・1年以内の復興が必要である。（被災した旅館、道の駅さかもと、倉崎さかもと駅やな、かわの駅等）
	⑨ 個人事業者は水害以前でも人口減のため困っていたが、今回の災害で尚一層の人口流出が考えられ、再起が困難となってくる。	・公費による支援
	⑩ 河川が氾濫し、田畑に甚大な被害が発生した	・農水省に申請できなかった箇所の支援
	⑪ 風倒木や伐採木材の後処理の不備及び害獣の被害により、球磨川の支流の洪水が各地で多数発生し、被害が増大した。	・伐採方法の改善及び害獣駆除
	⑫ 各地の谷川で洪水が発生し、被害が拡大した。	・谷川及び砂防ダム等の定期的な点検
	⑬ 旧橋梁に洪水が積み重なり、ダム化し災害が発生した。	・不要な橋の撤去
	⑭ 今回崖崩れした箇所の亀裂を8年前から市に改善を要望していたが、現場を確認されたか不明。適切に対応していたら災害発生には繋がりなかった。	・確認には地区責任者と同行
社会基盤	⑮ 急傾斜地において鉄砲水の発生する恐れがある。	・壁際の延長及び浚渫、砂防ダムの活用
	⑯ 球磨川及び支流に土砂が堆積し、今後災害の発生しやす状況にある。	・河床の浚渫
	⑰ 則清や確築の浚渫が不十分で、大雨の際道路が川状態になり大量の水が流れ道路決壊の恐れがある。	・早急な対応
	⑱ 避難所が被災したため、活用ができなかった。	・安心安全な場所への避難所移設
	⑲ 結核社会教育センターは避難所に指定されているが、トイレが簡易トイレであり避難所の機能を有していない。	・避難所としての設備の充実（トイレ等）
	⑳ 自主防災会を発足させ、必要物品も購入し連絡網をつくったにも関わらず、機能しなかった。	・行政により防災会等実態に則しているか検証の上、マニュアル化
	㉑ 避難指示が発令されても高齢者は、「他の地域に行きたくない。」「自宅待機をする。」と言われ、避難をしなかった。	・近隣に安全な避難所の確保
	㉒ 被災3日後、前触れもなく急に1時間後に避難と指示され、高齢者が多く対応に苦慮した。結果、30軒中12軒が避難できなかった。	・地域の状況を考慮し余裕を持った対応
	㉓ 被災者宅の空き巣被害が発生。	・地域への防犯カメラの設置及びパトロールの強化
	㉔ 今回の災害で2名が負傷し、ドクターヘリの使用により無事に治療が受けられた。	・ドクターヘリの発着場所の増設
㉕ 人命救助の事例が多数ある。	・調査の上表彰が必要	
社会基盤	① 被災者は現在の場所に慣れてしまいと考えている人が多いが、安全な場所があればまた長てきたいと思う人がほとんどである。	・安心安全な場所の宅地造成及び市営住宅の建設（仮設住宅は坂本町内に設置することが望ましい）（空き家の有効活用）
	② 被害が発生しなかった地区でも、停電や断水で避難せざるを得なかった。	・停電、断水の早期復旧と被害が発生しないような安全な場所への基地等の移設
	③ 中学校、小学校が日祭久にあり、スクールバスが来ない地区は送迎をしなければならず、若い人の転出が危ぶまれる。	・中学校、小学校の早期再開
	④ 道路が寸断されて孤立し、自力での避難が不能となりヘリコプターやゴムボートでの救助が多数発生した。また、通勤、通学、買い物等のため林道で3つの山越えをしなければならず市街地への転居を余儀なくされた。（旧粘綿バス停の非常時での高速道路への車両の乗入れ）	・道路の早急な復旧及び各地域への迂回路（県道、市道、林道等）の新設、拡張、整備。
	⑤ 少量の降雨でも道路が冠水し、地区が頻りに孤立する。	・各地域にゴムボートの配備
	⑥ 非常時の際の高速道路の使用は大変効果があった。	・道路の改修 ・坂本にインターチェンジを開設

③ 計画全体に対する意見

□ 住宅・住宅地の確保

安全な場所があれば、また戻ってきたいと思う人がほとんどであり、そのためには、宅地造成や市営住宅の整備が必要。

□ 生活を支える機能の確保

安定した日常を取り戻すためには、郵便局・銀行・病院・商店・ガソリンスタンドなどの早期再開や、公共施設等の適切な場所への集約が必要。

□ 地域おこしについて

観光事業が地域おこしの重要な施策となる。観光資源の活用。

④ 「産業・経済の再生」に関する意見

□ 個人事業者に対する支援

個人事業者の経営の先行きが厳しく、公費による何らかの支援を考える必要あり。

□ 農業に対する支援

農林水産省の支援メニューが活用できない農地に対する支援が必要。

□ 観光産業による地域おこし

地域資源を活かして外部からの観光客を呼び込み、観光産業による地域おこしを進めていくことが重要。

(1) 復興計画の「基本理念・基本方針（案）」

①基本理念（案）

みんなで取り戻す 生き生き笑顔のさかもと

ひとりも取り残さない
安心なまちづくり

次世代へつなぐ
安全なまちづくり

みんなで取り組む
持続可能なまちづくり

〔計画の基本目標〕

“くらし・コミュニ
ティ”の再生

“産業・経済”の再生

“社会基盤・防災”
の再生

産業の再生を推進することで、雇用（なりわい）の維持や地域産業・地域経済の活性化、さらには、地域の生活を支える各種機能の再生・充実を図ります。

(1) 復興計画の「基本理念・基本方針（案）」

② 基本方針（案）・・・復興計画策定へ向けて

基本理念	基本目標	基本方針	主な取り組み	想定される論点
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">みんなで取り戻す 生き生き笑顔のさかもと</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ひとりも取り残さない安心なまちづくり 次世代へつなぐ安全なまちづくり みんなで取り組む持続可能なまちづくり</p>	<p>“くらし・コミュニティ”の再生</p> <p>地域のつながりを維持しながら、安全・安心・快適に暮らせる環境を整備し、すまいとくらしの再生や地域コミュニティの再生を図ります。</p>	<p>安心して暮らせるすまいの確保 災害に対する不安がなく、安心して暮らせるすまいの確保を推進します。</p> <p>生活の再生に向けた総合的な支援 子どもから高齢者まで、地域の皆さんの生活の再生に向けた総合的な支援を行います。</p> <p>地域コミュニティの維持・再生 地域の魅力や活力の源となり、地域での生活の基盤ともなるコミュニティの維持・再生を図ります。</p>		<p>保健、医療、福祉の充実について 生活再生への支援。 災害公営住宅の検討。 子どもへの支援。 高齢者等の見守り。</p> <p>教育・文化の向上について 教育・文化・スポーツ。</p> <p>積極的な情報の発信について 住民への情報伝達方法の再点検。</p> <p>協働のまちづくりについて 地域コミュニティ。</p>
	<p>“産業・経済”の再生</p> <p>産業の再生を推進することで、雇用（なりわい）の維持や地域産業・地域経済の活性化、さらには、地域の生活を支える各種機能の再生・充実を図ります。</p>	<p>産業基盤の早期復旧 地域住民の生活を支える農林業や水産業などの産業基盤を早期に復旧するとともに、雇用（なりわい）の場としての役割を担う商工業などの事業再開を支援します。</p> <p>産業・経済の復興 地域資源を活用した新たな産業による地域おこしや、地域産業の“担い手”の確保・育成などを通じて、雇用の確保や地域経済の活性化を図ります。</p>		<p>産業の振興について 各産業の再興・振興。 雇用の維持・創出。 商業機能の充実。 企業誘致及び産業拠点整備。 観光・レジャー産業の再生・転換。</p>
	<p>“社会基盤・防災”の再生</p> <p>人口減少などにもなる地域課題にも対応した将来的にも安心して住み続けられる社会基盤の再生・整備を推進するとともに、国や県とも連携しながら、防災・減災対策を進めます。</p>	<p>持続可能な社会基盤づくり 人口減少や少子高齢化が進むなかでも、安心して住み続けられる、持続可能な社会基盤づくりを推進します。</p> <p>防災・減災のための基盤整備 災害が発生しにくく、地域への影響を最小限にするための基盤整備を推進します。</p> <p>地域の防災力向上 再び同様の災害が発生した場合でも、被害を最小限にとどめ、早急な復旧・復興が可能になるよう、地域の防災力向上を図ります。</p>		<p>公共施設等の再生・整備について 社会基盤の自然災害への対応強化。 公共交通機関の充実。 坂本支所の位置の検討。 道路の復旧・改良。 （橋・堤防）の復旧。</p>

産業・経済再生部会で検討する内容

(2) 部会としての考え方・方向性

14

- 考え方①：どうすれば産業の再生や経済活性化、雇用の維持が図れるか？
- 考え方②：問題意識と復興への考え方を確認
 - ・・・ **どういう事が必要なのか。**
- 考え方③：『自分達は何ができるのか？』
『何をしてもらいたいのか？』
 - ・・・ **まずは、一旦、考える。**
- 方向性①：各委員 考え方の意識統一
 - **一緒になって考える。**
- 方向性②：地域の方々も同様、、、
 - **地域全体で考える。**

今後のスケジュール

時 期	産業・経済 再生部会	八代市坂本町復興 計画策定委員会	備 考
R2.9	<div data-bbox="663 475 947 647" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第 1 回 9月14日 <small>策定委員会と合同開催</small> </div>	<div data-bbox="1140 475 1424 647" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第 1 回 9月14日 <small>専門部会と合同開催</small> </div>	
R2.10	<div data-bbox="663 699 947 826" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第 2 回 10月16日 </div>		
R2.11	<div data-bbox="633 906 972 1046" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> 第 3 回 11月13日開催 </div>	<div data-bbox="1140 930 1424 1058" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第 2 回 11月20日 予定 </div>	
R2.12	<div data-bbox="663 1106 947 1233" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第 4 回 12月1日 予定 </div>	<div data-bbox="1140 1074 1424 1201" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第 3 回 12月中旬 予定 </div> <div data-bbox="1140 1217 1424 1329" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 市長へ提言 12月中旬 予定 </div>	
R3.1			<div data-bbox="1543 1326 1942 1479" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> パブリックコメント 実施予定 </div>

次回